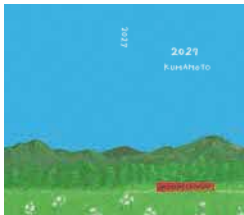


表紙デザイン4作品の紹介

2027年版熊本県民手帳の表紙デザインは、崇城大学芸術学部デザイン学科に所属する学生の皆さんに描いてもらいました。約90作品の中から学科内コンペを経て、次の4作品を表紙デザインに採用しました。

ここに、4作品のテーマ（作品の趣旨）と併せてご紹介します。



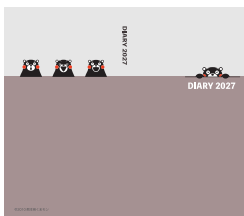
【作品のテーマ】H. Sakaguchi

阿蘇の豊かな自然を感じさせる緑と、赤い南阿蘇鉄道の「ゆうすげ号」を描くことで、鮮やかな色の対比を表現しました。手描きならではの温かみを加えることで、阿蘇の穏やかな雰囲気や親しみやすさが伝わるデザインを目指しました。熊本県に馴染みのない人でも、阿蘇の自然や地域の魅力を視覚的に感じてもらえたらと思います。



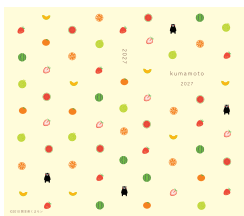
【作品のテーマ】M. Konomi

熊本の伝統工芸の魅力を伝えるデザイン案。お化けの金太、花手箱、きじ馬の3つをコンセプトにモダンでレトロな雰囲気を目指しました。親しみやすさを感じられるよう、花手箱の椿を散らばせたり、ほっぺを付けてお化けの金太を可愛らしく変化。金太の特徴的なペロで道を作り、そこをきじ馬が通るというストーリー性も込めています。



【作品のテーマ】A. Goto

このデザインは、『コーヒーの隣が似合う手帳』をコンセプトに制作しました。柔らかさのあるライトグレイとページを基調に、シンプルさと大人らしい雰囲気を演出しています。そこにくまモンの愛嬌を添えることで、上品さの中にも可愛らしさを感じられるデザインに仕上げました。



【作品のテーマ】W. Nishino

熊本の特産品である果物などを散りばめ、ポップで可愛い雰囲気を持たせました。全体として誰でも使いやすいものを意識し、明るく親しみのある印象を目指しました。所々にいるくまモンによって熊本らしさを高め、背表紙には、くまモンと果物が並ぶように調整しています。